

# 外 来

看護師長 町田 裕子

## 1 部門目標

看護職の専門性を活かし、関連する人々との対話を通して安全な治療環境を提供する。

## 2 業務体制・スタッフ

外来部門は、内視鏡室、化学療法室、放射線治療、4科外来（整形外科、形成外科、脳神経内科、脳神経外科）、中央処置室を担当し看護を実践している。また、夜間・休日の救急外来は、ICUと協働している。

令和2年3月現在、看護職員は18名であり、その内訳は看護師長1名（兼務）、主任看護師2名、看護師16名（常勤13名、非常勤3名）である。

## 3 業務実績

平成31年2月28日時点で夜間の救急受診患者数は5015名だった。また、検査・治療部門では、内視鏡件数が4817件、化学療法件数が1272件、放射線治療件数が1854件だった。中央処置室の利用患者数は1882名だった。緩和ケア外来受診患者数は156名、がん看護外来患者数は75名だった。

## 4 1年間の総括

自部署は、多くの部署・職種との関わりがあり、今年度は関係する人々の対話から違いの意識や考えの相違を理解することを重点にした。医師やICUとのカンファレンスを始めとした他部署・多職種との対話、自部署内のリフレクションによる看護実践の振り返りを通し、患者にとって安全な検査・治療環境につなげることができた。

## 5 今後の目標

次年度は、関係部署とのカンファレンスを継続していく。さらに、化学療法室の患者共有シートの運用を開始する等の取り組みを通し、患者を取り巻くすべての医療者との情報共有を円滑に進め、看護を継続し、その質を高めていきたい。